



都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園

校長 井上 美保

令和7年7月1日発行

7月号

4S・UD・スタンダード

～ 主体的に学びに向かうベースを整える ～

校長 井上 美保

暑い日が続いていますが、皆さん体調管理はできていますか？

就労に向けた準備の基本として、生活リズムを整え、体調をしっかり管理することが大切です。学校生活や授業の中で、このことを忘れないようにしましょう。

さて、今年度、本校では「4S」「南大沢UD」「南大沢スタンダード」を生徒たちが主体的に学びに向かう指導のベースとして捉え、学校として統一した学習環境を整備しています。

皆さんは、主体的な学びのベースとなる「4S」を徹底し、「南大沢スタンダード」をクラスで活用するなど、積極的に行動し、充実した毎日を送るために努力していますね。皆さんが学校生活を豊かにするために努力しているように、先生たちも皆さんにとってわかりやすい授業を行うために「南大沢UD」を意識して実行しています。

ユニバーサルデザインによる授業は、特別支援教育の視点を生かした授業づくりであり、通常の学級に在籍する全ての生徒にとっても分かりやすいという考え方ですが、改めて、この考えを全校で共有し、落ち着いて学べる学習環境を整えるために、令和5年度の後期から導入しています。

先生たちは、生徒の皆さんが見通しを持ちやすく、わかりやすい環境で主体的に学習に取り組めるよう、授業に工夫を凝らしています。

1年生の皆さんは、入学から3か月が経ちましたが、まだ馴染みが薄いかもしれません。7月の全校集会で詳しい説明があると思います。「南大沢UD」の項目には、生徒の意見が反映されています。

■先生からどんな授業を受けたいですか？

- ・答えは言うだけでなく、書いてもらえるとわかりやすい。
- ・黄色いチョークは見えづらい。
- ・黒板にタイトルがあるとわかりやすい。
- ・先生の説明がわかりやすい授業がよい。興味をもてるようになる。
- ・うまくいかないところを、先生も一緒にやってくれる授業。
- ・友達の意見が聞ける授業。いろいろな意見や知識が増えると、嬉しいし、またやりたいと思う。
- ・自分ができそうだなということを目표にしてくれる授業。うまくいくようにしたくなるし、次の目標を立てようと思える。
- ・大人になって生かせることがわかる(身に付く)授業。先のことがわかって少し安心できると思うから。

先生たちは、「南大沢UD」によるチェック項目を活用し、日々の授業改善に取り組んでいます。

南大沢UD

～生徒が学びに向かうベースを整えるために～

I 『生徒が取組に見通しをもてる授業づくり』

- ・本時の目標・流れをあらかじめ提示する。
- ・時間の配分の表をルーティン化する。

II 『生徒が落ち着いて取り組める授業づくり』

- ・授業のルールを明確にする。(発表の仕方、授業開始・終了時刻の厳守など)
- ・環境の最適化を行う。(机上の整理、視覚的な刺激の少ない教室環境など)

III 『生徒にとって理解しやすい授業づくり』

- ・情報伝達の仕方を工夫する。(文字の大きさや色、表紙の装飾や図表など)
- ・学びの焦点化を行う。(1回の授業で扱う内容を精選し、学習の要点を絞る)

IV 『生徒の主体性を引き出す授業づくり』

- ・達成できる学習目標を設定し、生徒にチャレンジさせる。
- ・制約なき学習機会を、生徒一人一人の取組や進度を尊重する。

V 『生徒が将来を見通せる授業づくり』

- ・「なぜこの学習を行うのか」について提示する。
- ・この学びが、将来どのような場面で活用できるかを伝える。

基本を大切に

主幹教諭 合田 尚樹

夏休みまで残り3週間となりました。皆さん、勉強に学校行事に部活動に熱心に取り組んでいましたね。本当にお疲れさまでした。特に、1年生は慣れない学校生活の中、よく頑張っていたと思います。

さて先日、近隣の特別支援学校と高等学校の交流の一環として、南大沢学園に片倉高校・松が谷高校・町田工科高校・町田総合高校の先生方が来校されました。

高校の先生方にはビルクリーニング、ロジスティクス、エコロジーサービス、食品、福祉の5つのコースの授業を見学していただきました。

授業を見学していただく中で、先生方から「積極的にあいさつをできることに感動した」、「教室をきれいに付けていて素晴らしい」、「表情が明るく、授業に主体的に取り組んでいてすごい」など、たくさんのお褒めの言葉をいただくことができました。常日頃より、皆さんが就労を意識し、授業に取り組んできた成果だと感じています。

芸事に「守破離(しゅはり)」という有名な言葉があります。習い事をしている人は聞いたことがある言葉かもしれません。言葉の意味は、「初めに型を守る、次に型を破る、最後に型を離れる」になります。「型」は「基本」と置き換えてもよいかもしれません。

いきなり「型(基本)を破る」、「型(基本)を離れる」ことはできません。まずは、「型(基本)」を守る(固める)ことが大切です。皆さんにとっての「型(基本)」とは何でしょうか。それは、本校の「3本の柱」である「4S」・「南大沢UD」・「南大沢スタンダード」になります。日々の「型(基本)を守る(固める)」積み重ねが、将来の結果につながります。焦ることなくできることから、「3本の柱」の実践を継続してほしいと思っています。

学習活動のベースになる取り組み

3本の柱

4S

南大沢
UD

南大沢
スタンダード